

# 日刊 動労千葉

84. 10. 3

No. 1757

## 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（22）七二〇七

10・10三里塚現地集会まであと一週間、かつてない大結集は決定的だ。  
9・25/27の成田用水着工阻止闘争を見よ。  
反対同盟農民を先頭とする実力闘争は、政府・自民党の六千の機動隊を投入した凶暴な弾圧をはね返して果敢に闘いぬかれ、二期阻止勝利の大きな展望をきりひらいた。  
この緒戦の勝利を突破口に、10・10空前の結集を実現しなければならぬ。  
動労千葉がその最先頭で、なんとしても五割動員を実現し、国鉄労働者をはじめとする膨大な労働者部隊を結集させようではないか。残り一週間、全支部で奮闘しよう。

# 10.10まで あまご一週間 「3.25」をしまわる 総力結集を

### 10割決起運動を展開中 学園協議会・通信員発

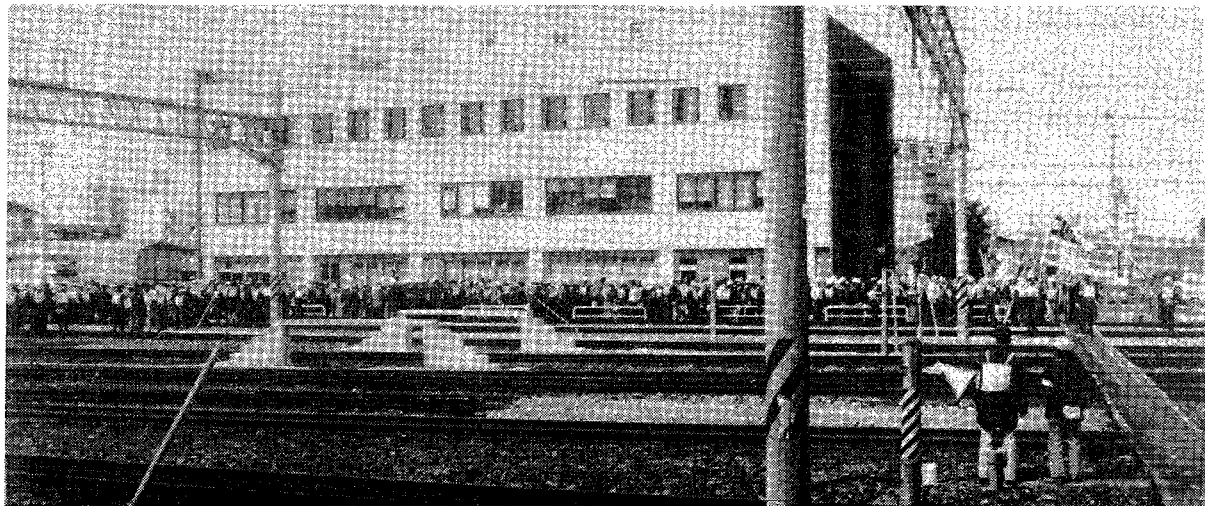
学園協は、9月11日、学園協役員会を本部より、重見、関両特別執行委員新藤副青年部長を迎えて開催し、「10・10三里塚10割決起運動」を決定しました。

この方針を決定して以降三週間、一週ごとに役員会を開催し、方針を決定し、オルグ・集会等を行い、「10・10三里塚10割決起運動」を展開してきました。

そのなかで、9月26日に開催した学園協集会は、37名を結集するなかで、全体的にはじめて10割決起を確認し、大成功しました。とりわけ、4クラス（DC・DL転換、EC・DL・DC本科）からの決意表明は「勝浦支部の親・青年部は全員決起する」「蘇我廃止をはね返さずには、10・10に決起する以外ない」等決意が明らかにされ、「10割決起は不可能ではない。実現できる」という確信が全体のものとなっています。

残り一週間、学園生出身支部との連絡をみつにして、実習先では支部のオルグ、学園では、全役員による最終オルグを行い「10割決起」を絶対実現したいと思います。

## 動労千葉を先頭に、巨大な労働者隊列を登場させよう



示せ、動労千葉のど根性！ 633名の大部隊で成田運転区前を出発（1984年3月25日）

### 9・25から10・2まで 個別オルグを実施 新小岩支部・通信員発

新小岩支部は、9月17日に執行委員会を開催し、「10・10五割動員」にむけた取り組みを決定した。

この決定にもとづき、9月20日、本部山口副委員長を迎えて職場集会を開催した。職場集会ではまず、「第9回大会の報告」がなされたあと「10・10へむけた全力動員」の意義について討論され、全員でがんばりぬくことが確認された。

そして、9月25日/10月2日まで、「大会報告」と「10・10参加」にむけた個別オルグを実施し、目標貫徹にむけ奮闘している。

青年部は、七割動員を目標に、10月1日に役員会を開催、執行委員会を先頭にがんばっている。

### 役員先頭に全力で決起する 勝浦支部・通信員発

勝浦支部は「支部役員全員年休体制参加」を先頭に、10・10五割動員実現にむけ取り組んでいる。  
すでに「個別オルグ」を終了。可能な限り一人でも多くの動員をかちとるため、10・10当日は「第二陣」の部隊も編成してかけつけることを計画している。

現在、支部執行部の約半数がDC転換教育で学園に入所中であるが、学園生も役員を先頭に全員参加をかちとり、3・25をしまわる決起を実現したい。